

1	会議名	令和２年度 第２回総合教育会議 会議録
2	開催日時	令和３年２月４日（木）午前１０時～１２時
3	開催場所	全員協議会室
4	出席者	市長 福田 良彦 教育長 守山 敏晴 教育長職務代理者 西村 宏 教育委員 村尾 利勝、廣田 登志子、竹田 千恵
5	欠席者	なし
6	説明のため出席した者	教育次長 三浦 成寿 学校教育課長 林 孝志、主幹 仁田 誠彦、指導主事 堀本 進 青少年課長（教育センター所長） 福屋 憲道 生涯学習課長（中央公民館長） 村重 加代子 文化財保護課長（岩国徴古館長） 後 詳子 中央図書館長 山本 圭子 科学センター館長 林 孝造 英語教育推進室長 鬼武 伸哉、次長 永木 健一
7	事務局	教育政策課長 村上 さゆり 施設班長 兼重 康則、政策班長 大黒屋 誠 政策企画課長 國廣 光秋
8	協議事項	令和３年度主な取り組み（教育関係施策）について
会議の概要	定刻になりましたので、令和２年度 第２回岩国市総合教育会議を開催します。なお、本日の会議の終了予定時間は１２時としておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 それでは、開催に当たりまして、福田市長に御挨拶をお願いします。 皆さんおはようございます。今日は恒例の岩国市総合教育会議の開催ということで、御出席ありがとうございます。先般、東小中学校の給食試食会にも参加させていただきました。子供たちの学校教育現場が様変わりしてきておりますが、昨今のコロナ禍においていろんな課題や難儀な話が出ておりますけれども、しっかり知恵を出しながら対応していきたいと思っております。今日はしっかり２時間、十分にいろんな意見交換をしながら、同じ方向を向いて今後とも頑張っていきたいと思っておりますので、忌憚のない御意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 それでは、議事の進行につきましては、岩国市総合教育会議運営要綱第４条第３項により、市長にお願いいたします。市長、よろしくお願いいたします。	
教育政策課長		
市 長		
教育政策課長		

市 長 教育政策課長	たします。 それでは、お手元に配布しております次第に沿って協議を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 まず議題ですが、令和３年度の主な取組と教育関係施策について協議をいたしますので、説明をお願いいたします。 教育政策課です。それでは資料に沿って御説明をさせていただきます。令和３年度主な取組（教育関係施策）の資料を御覧ください。教育政策課の継続事業が１０事業、新規事業が４事業です。事業名と事業内容を御説明いたしますので、予算額等は紙面で御確認いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。 まず、小学校低学年トイレセミリフォーム事業です。平成２９年度からトイレのセミリフォーム工事を実施してきており、令和３年度は灘小学校において実施するものです。また、小中学校とともに施設整備費の中で、修繕要望や特別な事情がある場合は、個別の対応を速やかに行っております。 次の小学校施設トイレ改修事業及び中学校施設トイレ改修事業でございますが、国の補正予算において、緊急経済対策として学校施設衛生環境改善のためトイレ改修工事が示されましたので、これを活用し、トイレ改修工事を実施するものです。通津小学校及び麻里布中学校のトイレ改修をいたします。 次に、小学校空調設備整備事業および中学校空調設備整備事業です。令和元年度から３箇年で小中合わせて２６校の特別教室に空調設備を整備する予定としておりますが、来年度は、小学校５校、中学校１校にエアコン取り付け等の工事を実施いたします。財源は、文部科学省と合併特例債を活用いたします。 次の東小・中学校校舎建設事業ですが、平成２８年度から進めてまいりました本事業も令和３年度が最終年度となり、令和２年度から令和３年度にかけプール建設工事、小学校グラウンド整備工事を実施いたしまして、令和３年度において中学校グラウンド整備工事を実施し事業が完了となります。財源は、文部科学省の国庫補助金、合併特例債を活用いたします。 次のページを御覧ください。灘小学校屋内運動場改築事業です。岩国市学校施設長寿命化計画に基づき、改築を行います。まずは、令和３年度から４年度にかけて、実施設計等を行う予定としております。 次に、（仮称）英語交流のまち推進センター整備事業ですが、英語教育や国際交流の交流拠点となる施設をＪＲ岩国駅東口駅前広場に整備を予定しておりまして、令和３年度は保留床を取得して、内装等、施設の整備工事を行い事業を完了する予定となっております。 次に、小中学校日本語指導支援員配置事業です。日本語が話せない、日
--------------------------	--

常会話程度しかできない外国人子女に対して、学校への適応を図ることを目的としています。日本語指導支援員は、授業中に当該児童のそばに寄り添って日本語のサポートをしたり、必要に応じて個別の取り出し指導により日本語の基礎・基本を教えたりする活動をしております。令和3年度は計5名の支援員の配置を予定しております。財源は、山口県の再編関連特別地域整備事業の基金を活用いたします。

次は、英語教育推進事業です。小学校における国際理解教育及び英語教育の推進を図るため、英語を母語とする外国語指導助手、いわゆるALTを配置しております。令和2年度から小学5・6年生は英語が教科になっており、ALTを小学校間で配置展開することにより、パフォーマンステストなどの評価のサポートを効果的に行うなど、より質の高い授業支援を行います。小学校32校を10グループに分け、10名体制のALTで指導を行ってまいります。

次に、国際交流支援員常駐配置事業です。これは財源として再編関連特別地域整備事業の基金を活用いたしまして、中学校における国際理解教育及び英語教育の推進を図るため、英語を母語とする国際交流支援員を全14中学校に対し常駐配置いたします。本事業は、生徒への語学指導だけではなく、地域への語学指導、国際交流教室等を開催することによりまして、グローバル化により増加する外国人とコミュニケーションを円滑に行う環境を整備いたしまして、生徒を含む市民への英語力向上を図り安心して生活できるまちを目指してまいります。国際交流支援員14名を配置いたします。

次に、英語民間試験活用事業です。これは財源としてふるさと応援寄付金を活用しております。英語民間試験を導入することにより、その測定結果をもって授業の工夫・改善を行い、教職員の指導力の向上や児童・生徒の英語力の定着及び向上を目指してまいります。今年度はコロナの影響で11月に受験いたしまして、結果は今月中になる予定でございまして、まだ結果が出ておりませんが、市立小学校6年生及び中学校3年生全員に受検していただいております。昨年度は、小学校においては、全国平均を上回っており、中学校においては、中学校卒業時に身につけておきたい英語力レベルである「CEFR-J A1.2」が63.3%となっており、今後は70%達成を目指してまいります。

次に、小学校英語力向上事業です。令和2年度から小学校において教科化された英語教育を推進するため、小学校5・6年生を対象に授業で学んだ英語力を定着させるとともに、教職員には「話す」技能の評価のサポートを行うソフトウェアを導入します。

最後になりますが、英語交流のまちIwakuni推進事業です。内閣府より平成31年度から令和3年度の3年間にわたり、地方再生計画「英語交流のまちIwakuni創生プロジェクト」の事業認定を受けてお

学校教育課主幹	り、英語教育や英語を核としたまちづくりを行い、若い世代を中心とした幅広い層における英語の学びや学び直しなどを推進しております。今年度は、昨年度策定いたしました「英語交流のまち I w a k u n i 創生プロジェクト基本方針」に基づきまして、各種イングリッシュ・キャンプや基地内交流ツアー、日米交流事業などの体験活動、英語教育推進フォーラムなどを開催するとともに、市民全体の英語力向上へ向けた環境構築の地方創生プロジェクトを推進してまいります。教育政策課からの説明は以上です。 学校教育課です。 まず、小中学校学校給食運営事業です。予算額は、5 億 6,734 万 1,000 円です。平成 30 年度から学校給食運営基金を活用し、市立小中学校の学校給食費の無償化を実施しております。 次に、確かな学力推進事業です。予算額は、139 万 6,000 円です。これまでの主な取組としましては、市内 3 中学校区への研究校指定や発表会の開催、市外研修会への参加など、様々な事業を実施しております。本事業を通して、小・中学校の教職員や関係者が一堂に会し、研修することは大いに意義があり、目的の共有や相互理解が進むことで、子供たちの学力向上につながると期待されます。 次に小中一貫教育推進事業です。予算額は、162 万 6,000 円です。 来年度は、全小・中学校で更に小中一貫教育を推進するため、小中一貫教育担当者協議会を開催し、山口大学より指導者を招聘して研修会を行います。また、中学校区で合同研修会の開催や、先進地域への視察による事業研究を行い、小中一貫教育の目的や取組を学校関係者だけでなく、保護者や地域住民と共有することを目指します。 次に岩国北部地域給食施設整備事業です。錦、美川、美和、本郷のやましろ地域の小中学校の給食施設はいずれも老朽化が進んでいることから、安心・安全な給食を安定的に提供するため、平成 12 年に新設した美和西小学校の調理場を、北部地域の共同調理場として改修し、美和西小学校から北部地域の各小中学校に給食を配送する方式に変更するものです。来年度は、その設計費として 1,592 万 8,000 円を計上いたします。 次に、小中学校 I C T 環境整備事業です。予算額は、4,979 万 5,000 円です。教育における I C T を基盤とした先端技術の効果的な活用が求められており、今年度は小中学校において、高速大容量の通信ネットワークの整備や、児童・生徒 1 人当たり 1 台の端末の整備を行って参りました。来年度は、学習支援ソフトを導入するなど、整備された端末を効果的かつ積極的に活用し、児童・生徒の確かな学力の向上や、教員も含めた情報活用能力の育成を目指して参ります。以上です。
青少年課長	自立学習応援プログラム（e ラーニング）の導入事業です。予算額は 165

生涯学習課長	万 4,000 円です。これは、不登校児童・生徒に対して学習保障を目的とした e ラーニングを導入する予定のものです。不登校児童・生徒が通室している支援教室における学習としては、小学校 5 年生から中学校 3 年生まで様々な年齢の児童・生徒が学習を行っており、学年も違えばこれまでの学習状況も違うため、丁寧な個別指導を中心に学習を進めております。また引きこもり傾向がある児童・生徒に対して家庭訪問を行うアウトリーチにおいては、児童・生徒及びその保護者の個別の支援を行っております。他市町には無い、岩国市の充実した不登校児童・生徒への支援により、昨年度支援教室に通室した中学校 3 年生は全員進学することができています。また心の支援員等のアウトリーチによる家庭訪問により、学校復帰や支援教室に通室することができるようになった児童・生徒もいます。しかしながら支援教室が開室するのは 1 日 3 時間程度であり、1 日 6 時間学習する学校とではどうしても学習進度に遅れが生じます。またアウトリーチ型の家庭訪問も直接支援できる時間は限られています。そこで e ラーニングの強みである個別学習の充実、ネットを活用した家庭学習の充実、児童・生徒の理解度に応じた学習内容の提示等は今後、支援教室及びアウトリーチで課題となっている点に対応していけるものと期待しています。青少年課・教育センターからは以上です。 生涯学習課・中央公民館について御説明いたします。 まず「とどける」家庭教育支援事業についてですが、これは継続事業で主に報償費として 240 万 3,000 円を計上しております。この事業は全小学校での事業展開を図り始めてから 2 年が経過し、現在小学校 32 校中 20 校、支援員 44 名まで拡大をいたしました。課題を抱える家庭や孤立しがちな家庭等を対象に学校と協働して子育てや家庭に関する相談対応や情報提供等を通じて、家庭の自立と課題解決につながる専門機関への橋渡しを行います。また、支援員の資質向上を図るための研修会開催や支援員同士の意見交換の場を設定し、支援員に対してのケアも行うようにしました。さらに、この事業を教育委員会関係各課だけでなく健康福祉部局等の関係機関と連携し、岩国市全体で展開することで、切れ目のない子育て支援——家庭教育支援体制の構築を図ります。 次に中央公民館整備事業ですが、事業費については訂正があります。一般財源が 1 億 7,317 万 8,000 円となっておりますが、合併特例債を利用するので、地方債の欄に 1 億 1,470 万円を加え、一般財源を 5,847 万 8,000 円とさせていただきます。この事業は、令和 2 年度繰越事業費は 5,239 万 3,000 円、令和 3 年度事業費は 1 億 2,078 万 5,000 円です。中央公民館等の建替えに伴い、駐車場予定地の買収を行います。また、基本設計・地質調査・測量業務を行った後、現施設の解体設計を行います。令和 2 年度からの繰越し事業の内訳は、基本設計業務 4,109 万 3,000 円、地質調査業務 1,070 万円、測量業務 60 万円になります。3 年度の事業
--------	--

文化財保護課長	の内訳については、解体設計費が 1,010 万円、用地買収費等が 1 億 1,068 万 5,000 円になります。 文化財保護課から説明します。 旧目加田家住宅整備事業ですが、予算 268 万 6,000 円で国の重要文化財である「旧目加田家住宅」の保護と美観を整えることにより、観光資源としての価値向上と文化財の活用を図ることを目的に、保存活用計画を策定するものです。旧目加田家住宅は、前回の解体修理から 40 年以上が経過し、老朽化に伴う問題が生じてきております。このため、早急な対応が求められていることと、その美観を整備することで、観光にも資する文化財の活用に対応するためのもので、文化庁の補助事業となっています。2 件目のシロヘビ飼育施設整備事業ですが、予算 1,309 万円です。岩国市の所有するシロヘビ飼育施設を概ね 6 年ごとに必要な環境整備を行うもので、今回は、旭第二屋外シロヘビ放飼場の土壌改良や脱走防止のためネットの張り増し等を行うものです。市有の屋外飼育施設は 4 箇所ありますが、今年度が旭第一を行っているところです。 続きまして、岩国徴古館の二つの事業についてですが、予算は 812 万円です。こちらは、令和元年から 2 年度において策定した「岩国市博物館等施設再整備計画」に基づき、岩国市博物館等の施設再編に伴う「博物館基本計画」を策定し、博物館の整備を行うもので、博物館の新施設の位置や規模、岩国徴古館などの施設の活用方法などを具体的に検討するものです。以上で、文化財保護課及び岩国徴古館からの説明を終わります。
中央図書館長	令和 3 年度の主な取り組みについて、二つの事業を御説明いたします。 まず 1 点目の、「周東図書館空調機器更新事業」についてですが、これは周東図書館が老朽化し、部品の調達も困難が予想されることなどから、修理の必要な空調機器を計画的に更新するため、建設関係工事請負費として 616 万円を予算計上しております。財源として、電源立地対策交付金を 437 万円充当いたします。次に「各種講座開催事業」についてですが、対象者を一般向けとして、報償費 20 万円を計上しております。昨年 6 月、岩国市出身者や縁のある方を市のホームページ等で紹介しています「私の岩国」の連携事業として、岩国市出身の小説家「樋口明雄氏」をお招きする予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催を断念いたしました。現在も 10 都道府県で緊急事態宣言が延長されている状況であります、3 年度も樋口氏に依頼をする予定としております。以上です。
市 長	はい、それでは各担当から説明をしていただきましたが、ご意見、ご質問がありましたら、よろしくお願いします。
村尾委員	文化財保護課の博学連携推進事業について、郷土の偉人の電子紙芝居は非常に魅力ある取組であると思います。というのも、前回の総合教育会

文化財後保護課 長	議で、青少年課が「私たちの岩国」の電子化をしたらどうかという話があったと思いますが、予算的に足りない。私たちの岩国は小学校3年生を対象に学習するのですが、内容をみても、とにかく行政から始めて私たちの偉人まで全て網羅しているのですが、特に偉人については説明が難しいので学校側も苦慮しています。それとコラボするというのは非常に効果が上がるのではないかと思います。私たちの岩国に誇れる偉人がいるんだという認識も新たになって、郷土が好きになるという学習が展開されると思うのでぜひ徴古館と学校側がタイアップしてアピールして学習を進めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。 チラシを、学校に3月ごろお配りして、来年度の課程の中に組み込んでいただくような形で御紹介させていただく予定です。今年度については、藤岡市助さんの電子紙芝居を予定しておりますので、学校でも活用ができますし、徴古館に来ていただいても活用ができるような形で進め、連携していきたいと思います。
村尾委員 廣田委員	強力に推進していただきたいと思います。 教育政策課の小学校英語力向上事業に関係することで、御承知のように、今年度から小学校5、6年生において英語が教科として導入されました。学校を回ってみても現場の先生が大変工夫され、子供たちも新鮮な気持ちで生き生きと学習しております。今までの英語活動を活かしながら教科として授業を進めておられました。英語の教科書はデジタルデータがたくさんありまして、岩国市は機器が充実しております、そうしたソフトを使って学習する姿を見ております。英語の教科化が進んだということで、更に充実させていくためには、一つは岩国市が率先して実践しておりますひがし学園を象徴とする小中一貫教育において、中学校の英語の教育を小学校でも活用できる。それから指導員もALTや国際交流支援員も含めて英語圏の先生がたくさんいらっしゃるの、いかにネイティブに触れさせるのかが一つ課題になるのですが、そこをしっかりと、小中一貫教育を柱とすることと、もう一つは、ここにあるように教職員に「話す」技能の評価のサポートを行うソフトウェアの導入は、諸刃の剣でとても重要なことと思います。このソフトウェアは具体的にどのような内容を考えておられますか。
教育政策課長 廣田委員	実際には、児童におきましてはヘッドセットをつけて、その単元で授業で習ったことを声に出してやり取りを通じて復習をするということができますので、学習の定着を図っていただくということになります。また、学期毎にスピーキングテストやアンケートを用意しています。先生はそういった結果を確認されて、主体的に学習に取り組む態度といった評価の観点を読み取っていただくことができます。 これは、教材についてはいくつかの候補があってその中から選択をするということですか。それともピンポイントで集中してソフトウェアを導

教育政策課長	入しているのですか。
廣田委員	今、G T E C も導入しているので、その関係もあるので、それと関連したものを使うということになります。
市 長	いろんなところが発売されていますけど、一貫性を持って、でも独占となっはいけないので、しっかり選んだメリットをはっきりさせていただきたいと思います。
教育政策課長	関連ですけど、この予算の 226 万 6,000 円はソフトウェアの導入費ですか。
市 長	これは児童にアカウントを与えるようになるので、その人数分の金額です。
教育政策課長	これを生徒数で割ったらアカウントの金額が出ますね。
市 長	今、予定としては 2,060 名分で計算しています。一人 1,100 円となります。
英語教育推進室 次長	アカウントを買えばソフトは無料ということですか。各アカウントでベネッセのシステムに入ってアクセスできて使えるということですか。
廣田委員	各児童にアカウントを振りまして、パソコンか i P a d を使用します。ベネッセがブラウザ上で提供していますので、そこにログインして使用しますので、経費はかかりません。
英語教育推進室次長	これは毎年この値段がかかるのですか。
西村委員	一人一年間 1,100 円かかります。
市 長	データはベネッセがほかの営業に使うことを認めている契約ですか。ベネッセにとったら 1,100 円でも生徒の情報が入るのであれば、営業に使えるのでソフト代が無料でもメリットがあると思います。その辺りの契約はどのようなになっているのか確認しておかないと、どんどん営業が個別に来るのではないですか。
西村委員	受験とか控えていると、ベネッセの独自教材をどうですかといった営業が来ますよね。
英語教育推進室 次長	最近はずいぶん営業からの連絡が来るでしょう。個別に生徒に連絡がいつでも問題ないのかよく確認をしておかないと。当然使うだろうとは思いますが。
西村委員	個人情報については、各学校の方から出すことはありませんので、個別に連絡が来ることはないと考えています。岩国市とベネッセとの契約になりますので。
	ベネッセのページにログインしたときに、児童のデータがベネッセに集まって営業に使われるということはないということですね。
	学校教育課にお尋ねしたいのですが、今年一年はコロナで授業が進まなかったりいろいろあったかと思いますが、振り返ってみて、コロナの影響により学力とかその他のことに悪影響があつて、次年度はそれに対してどう対処するかということをお聞きしたいのですが。

学校教育課長	まったく影響がなかったということはありません。当初、やはり感染を恐れていたのも、アクティブラーニング——話し合い活動を極力避けようとか、音楽や体育など飛沫が飛ぶようなものは避けていこうというのは見られました。ただ、教育委員会としましては、子供たちの話し合い活動は大変重要であるということで、必要なときだけグループになってそれ以外のときはちゃんと前を向いてしましようと。体育も離れていればやってもいいというマニュアルがありますのでそれに沿って、また音楽活動も0か100ではなく、できるだけ可能な限り通常の教育活動でお願いしますと。二学期以降は、ほぼ通常の教育活動を行っております。先般、麻里布小でクラスターが発生した際は少し自粛をしたところもありましたが、今は落ち着いているということで、県としてはレベル2、ステージ3なんですけど、本市としてはレベル1に近いところであるかなということで、通常の学習で行っております。かえって良かったなと思うところは、リモートとかを使うようになってZ o o mを活用するようになり、宇佐川小学校と錦清流小学校、由宇小学校と神東小学校のような小さな、いわゆる複式のある学校で、複式解消のために、例えば宇佐川小の先生がそれぞれの学校の3年生に授業を教え、錦清流小の先生が4年生に授業を教えるといったことを始めたところです。まだ、計画的にはできていませんが、これを来年度のへき地・複式の研究のテーマとして、複式解消の授業にオンラインを使っていくというような動きが出てきたことはメリットかなと思います。
西村委員	岩国市は、昨年を振り返ると、他市よりもできるだけ教育機会を作ろうということで給食を早めに始めたり、休みの期間を短くしたりしてかなりギリギリのところまで努力してきたと思います。あとは、メンタル的にも子供たちがマスコミから受ける情報でかなり精神的にも悪影響を受けるということがなければ、来年度も続けてほしいと思いますが、学力やメンタル面に配慮して進めていただきたいと思います。 もう一点、修学旅行とか大きな活動は、今年度は公立の中学校はほとんど実施されたんですか。
学校教育課長	修学旅行ではなく別の活動をしたのが1校、日帰りで県内を回ったのが2校、それ以外は一泊二日もしくは二泊三日の修学旅行で、県内又は四国や九州であったり、学校の実情に応じて保護者等にアンケートを取りながら行っております。
西村委員	1校か2校ですよ、行かなかったのが。これは個別に中学校で判断してくださいということですか。
学校教育課長	はい。教育委員会としては、当時、関西方面でコロナが流行っていたので、これは中止してくださいと。それで見直していただいてより安全なところを選んで、保護者としっかり共通理解を図りながら、できるだけ実施してくださいとお願いをしてやっていただきました。

西村委員	私は良かったと思います。まだ同じような状況が続く可能性がありますから、ギリギリの状況を見ながら積極的に活動することを考えていただきたいと思います。
市 長	修学旅行の関係ですが、やっぱり子供はすぐ情報が回ってくるので、どここの学校は一泊で行くけどうちは日帰りだよとか。それぞれ学校で保護者のアンケートや学校で決められるのでしょうけど、中止は1校ですよね。それぞれ判断があったんでしょうけど、行けなかった子供たちがどう思うか、代わりはどうするのかという判断を一つ見解として示してあげないと。各学校の判断に任すというのは酷なのかなと思いました。全体的にある程度、一泊で行った方がいいとか日帰りにしましょうとか示してあげないとバランスが欠けるのかなと気になりました。
教育長	そこも大変協議したのですが、行く時期がバラバラなんですよ。9月や12月など。先が読めないのです。9月のところは早めに対応が必要だろうということで、関西方面はやめていただいて。また、班別自主行動も配慮してくださいと。キャンセル料とかを業者と話し合いながら、また保護者の意見も聞きながら対応していきましようということでも徐々に広がっていったということです。中止の学校も決められたのが9月で早かったんですよ。
学校教育課長	もちろん中止の学校は、子供たちと十分話をして、思い出に残る学習となるよう別の活動をきちんとやっております。中止で終わったということではございません。
市 長	運動会はどうですか。
学校教育課長	運動会については、基本的に午前中開催で、昼の食事が一番危険だということで、種目を少なくしたり、最初1・2年生が登校して、帰った後に今度は3・4年生が登校してするといった入れ替わりの開催をしたりと各学校で規模に応じて工夫して実施しました。
村尾委員	来年度の修学旅行なんですが、1年前に契約する形になりますよね。関西方面が中学校は多いと思うんですよ。そのあたり、学校側の足踏みというのはありますか。
学校教育課長	契約は今年度の春にしているので、来年度の5月に修学旅行を計画しているところは、キャンセル料のかかるところを見て、秋に持って行けるように工夫してくださいと。実際に、今、ワクチン接種が日本では5月か6月辺りに子供たちにも行き渡るのかなと。そう考えると秋頃にはやっと安全に修学旅行が実施できるのかなという見通しがありますので、その辺の調整をお願いしています。
村尾委員	九州とか割と発生が少ない地域に行こうという学校はありますか。
学校教育課長	もちろんそこも視野に含めていますが、子供たちは関西に行きたいという思いが強いので、感染状況を見ながら柔軟に対応していきたいと思います。

村尾委員	子供たちの意向も大切ですが、やっぱりこの時期でしたら修学旅行を実施するというのが大きな目標だと思うので、方向性についてもよく学校側に検討してもらった方がいいと思います。
西村委員	秋に通常に戻る可能性は低いと思って企画した方がいいのではないですか。今ほどひどくはないと思いますが、秋には行けるかと思って計画すると、ダメになったときに子供たちのショックが大きいと思うんですけど。専門家の意見を聞かないと何とも言えませんが、感染者が夏には減って秋には増えたりが続くと、同じ事の繰り返しになると思います。
学校教育課長	秋という言い方は適当でなかったですが、9月という話なんですけど、今年の経験を見たときに、9月あたりから割と感染が抑えられている状況なので、今年一年の経験を見て来年度の計画を立てるのが一番良いかと考えてます。
西村委員	ダメだった場合のことも頭に入れておきながら。
学校教育課長	はい、そうですね。
市 長	ワクチン接種の状況を踏まえながら。これから世界中で打ったワクチンの効果がデータで出てくると思いますので。岩国市民の6割強くらいがワクチン接種を受けるのではないかとアンケートが出ていましたから。
西村委員	ワクチンを打ってもかかるときはかかりますよね。インフルエンザみたいに。
市 長	ワクチンを打ったからといって無敵というわけではないけれども、ある程度安心材料になるのだろうから。状況がどうなるか分かりませんが。
学校教育課長	最悪の状況を考えて計画していきます。
西村委員	それと、ICTの授業について学校で進めていますが、子供たちの反応はどうか。
学校教育課長	まだ一人1台端末が入っていませんので、大きく様子が変わったわけではないのですが、プログラミング教育研究発表会を先日、灘小学校で行いました。やはり、子供たちの方が大人より取り組みが早く、興味を持っていろいろアイデアを出し合いながらお互いに意見交換をしたり、iPadの中で、ホワイトボードに書いたものがたくさん貼り付けてあるような状況なので、自分たちがやってうまくいかない。どうしたらいいだろうかと考えても答えが出ない。それならよその班のものを見させてもらい比べてみると、自分たちに足りなかったものが見つかり、それを参考にまたプログラムを組み立てていくといった、今までにない授業が展開されているのは確かです。本格的にiPadを使うのは4月以降になります。
西村委員	使っている子供たちは楽しみながらワクワクしながらやっているとうですか。
学校教育課長	はい。動画もすごくきれいに映りますので。

西村委員	英語教育に関して子供たちの反応はどうか。英語を学ぶということに関してどう望んでいますか。
英語教育推進室 長	英語教育に関しては、例えばタブレットを使って自分たちがプレゼンをする。そのいろんな資料をネットから探してきて、自分たちの主張したいことをタブレットで作成して、表現活動をする。そういったことは各学校でよく見られるようになりました。グループでそういった活動をするのをよく見ますが、全員が協力し合って生き生きと自信をもって表現活動をしています。
西村委員	英語を学ぶということに対して積極的な感じがしますか。
英語教育推進室 長	やはり、瞬時にいろんな情報が英語でも入ってきますので、教科書にないこともその場で語彙をとってきて、それを自分たちのもののよう表現することができますから、積極的に活動している場面をよく見ます。
西村委員	英語を学ぶと、インセンティブというか、なぜ今英語を学ぶ必要があるのか子供たちが分かった上での取組となっていますか。
英語教育推進室 長	大抵そういう活動をしているときは、A L Tや国際交流支援員に対して伝えるという場面設定をされていることが多いので、児童生徒はそういうことが分かった上でプレゼンしています。
市 長	英語は習うということも大事ですが、低学年は自然に耳から入ってくるように慣れることも大事で、自然に英語が学べるような環境を研究してやっていると思うので。岩国市は1クラス分タブレットを早めに導入してやっていましたので、授業数は少ないですが、子供たちは比較的タブレットを使って授業を行っています。G I G Aスクール構想ということで4月からは一人1台端末の環境になりまして、今回コロナの影響もあって授業ができない、また自宅待機しないといけない子供たちは、タブレットをうまく活用して家庭学習として、使いこなしてほしいと思いますが、先ほど子供たちの反応について聞きましたが、現場で使う先生方は、こういった英語教育やI C Tの環境が入ってくる中で、非常に覚えることとか慣れることが増えていると思いますが、現場ではどんな様子ですか。
学校教育課長	年齢的なこととか温度差はあると思いますが、バランスが欠けてはいけないので、基本的な扱いやマニュアルとかは一通りやっていただきたい。そのための支援員とかいろんなことをしていると思いますが、今始まって数年ですけど、状況はどうか。 A Iとかドリルとかはあくまでツールとして私たちは見ているので、教育は人だと思ってます。ツールであるi P a dとかI C T機器を使いこなすというので、やはり若手の順応が早いです。今まではベテランとか中堅教員が若手に教えて指導していく流れだったのですが、I C Tに関しては若手が研修の主体となって、それをベテランが学んでいくというちょっと違った職員間の交流が生まれて、若手が自信を持って取り組ん

廣田委員	でおります。それが今までとちょっと違った学校の中の風景だなと感じております。 今、市長がおっしゃったように、英語は慣れるもので、I C T先行ではまずいことで、今、予算書を見てもと岩国市は英語関係の予算がたくさんついていますよね、たくさんのネイティブな人がついています。学校教育と市民を巻き込んだ交流のまちで、今、英語教育推進室が学校教育関係者と市役所職員の3人で実施をしています。ぜひ、学校の授業を見て回ってもそこに支援員がいるのに窓のそばに立って、日本人の英語担当の先生が一生懸命授業をしているだけではもったいないと教育次長と学校訪問をしたときにいくつかの学校で感じました。英語担当の先生はあまり頑張らないで、しっかりネイティブを活用させて、文法の説明であるとか分からない部分の補助にあたるとか、うまくネイティブと担当者が強弱をつけて活用する方向で授業が進めば、岩国市の英語教育も充実するなと思います。実はG T E Cで小学校6年生の英語が上がったけれども、そういった結果に現れるといいなと。それが市民に広がっていくといいなと思います。
教育長	ちょうど明日、小中高連携英語教育推進校・連携校研究発表会がありますが、小学生の授業がZ o o mを使って各校にいる国際交流支援員と繋いでネイティブな対話をしていくということ、本来なら一人の支援員と教室で対話となるのですが、このような取組を通じて英語教育も広がっていくのではないかと思います。
廣田委員	英語教育の目標にコミュニケーション能力を高めるとか文化の違いを認めるという柱があるのでその辺のところはぜひネイティブと日本の先生が協力してほしいと思います。
市 長	Z o o mを使える環境はしっかり整っているのですか。先ほど小規模校の方でも活用している事例を聞きましたけど、学校ではそれぞれカメラやマイクとか用意があるのですか。
学校教育課長	はい。各学校にはP T Aや学校運営協議会とZ o o mでやりとりを必ずしてくださいとお願いしていて、実はもうテストは済んでいます。それと県の研修を学校現場にいてZ o o mで行うこともありますのでどの学校も使うことはできます。
竹田委員	今の英語教育は子供たちが話す技能がついていないと思う。文法と単語は覚えられてもふいの会話ができない。話す技能が大事だと思います。
市 長	G T E Cの4技能ということで、「話す」ことについて、日本人はシャイなのか話そうと思えば話せるんだろうけども。4技能をちゃんと一人一人がどこが弱い強いというのを分析してくれて、先生方がフィードバックされたものを子供たちにその後の英語教育に活かしていただければと思うのですが、G T E Cの評価が出るのが遅いので、我々もしっかりいろんな結果を早く出してそれが子供たちへの指導に繋がれば当初

廣田委員 市 長 教育政策課長 市 長 教育政策課長 教育長	の説明どおりの4技能の個々の教育に繋がると思うんですけど。そこはまだまだ完璧にはできていないので、しっかりベネッセと協議してなるべく早めにG T E Cを活かせるようにしてほしいと思います。 今年は中学校はコロナで実施はできなかったんですか。 実施が遅かったんですね。 11月に受検しました。 本来はいつだったんですか。 本来は6月の予定でした。 6月だから夏休みくらいには結果が分かるはずでした。その間に休校とかありましたので。また来年はこの時期に戻るとのことですね。
英語教育推進室次長 村尾委員	はい。来年は戻ります。 青少年課にお尋ねします。NHKの児童生徒のアンケートで、コロナ禍で70パーセントくらいの子が何らかの不満を抱いていると報道がありました。実際に、そのデータが岩国市に当てはまるか分かりませんが、子供たちの影響はどうでしょうか。
青少年課長	御指摘のとおり、コロナ禍により大きな影響を受けている家庭もあると思います。ただ、どの程度各家庭において影響が生じているのかは、なかなか学校では把握ができないところではあるのですが、児童生徒の不安は個によっては大きなものがあるということを認識しています。そのため、把握する手立てとして、週一アンケートをこれまで継続して行っており、それを基盤としながら、子供たちが何かS O Sを出した場合には、早急に教職員で共有し、また、スクールカウンセラー等の専門家とのつながり、家庭に支援が必要であれば、スクールソーシャルワーカー等と連携していきながら、関係機関や専門家、学校等でサポートしていく体制、また教育委員会としても即日学校訪問し、学校を支援していく体制は整えています。ただ、自分の教職経験の中で、アンケートに頼るのではなく、行動観察が一番大きなポイントになってきます。学校訪問していく中で、顔が半分以上マスクで隠れているということは表情が読み取りにくいので、ちょっとした表情というのが先生方にはとっても分かりにくくなっているのが現状かなと思っています。表情であるとか、日記の筆圧であるとか、挙手などを総合的に見ていきながら、コロナ禍だけでなくいじめ等も含めて子供たちの不安を読み取っていく教職員の視点が必要であると思います。特段、コロナ禍だからこそ家庭的な虐待であるとかの報告は受けていませんが、アンテナを高く持って対応していきたいと思っています。
村尾委員	現状として挙がるのは、児童虐待であったり、長期欠席とか学力不振の面で現れてくると思います。そういったことが重なって不登校に発展したりするので、早く見つけていかなければならない。学校と教育委員会が連携して、そういった事象についてはチェックしているとは思いますが

青少年課長	が、主だった傾向というのは岩国市はないということですか。 コロナ禍だから虐待が起こっているというのではないです。例えば、学校休校中にこども支援課の方に、これまでも虐待がある保護者の方から子供がずっといるから子育てに対して不安があるという連絡を数件受けたという報告は受けております。ただ、岩国市は他市に先んじて学校再開をしてコロナ禍への対応を進めていますので、そういったことで直接的な虐待は出ておりませんが、要保護対策協議会に出席しましても出ておりませんが、遠因として、保護者の漠然とした不安であるとか、経済的な面であるとかが背景にあると思われるものについては、各課と協力していきながら支援していくという体制は要保護対策協議会を通じて行っています。
村尾委員	岩国も万全な対策をして、子供達もコロナによる影響が少なかったということは非常に安心していますが、今後、児童虐待等について、学校だけでは対応しきれないのでＳＳＷの導入であったり、教育相談の充実が図られると思うんですけど、そういった面についてどうお考えですか。
青少年課長	やはり個別対応が基本になってきます。個々によって大きな違いがありますので、スクールカウンセラーであるとか、スクールソーシャルワーカーであるとか、子供相談室であるとか、関係機関との連携が今、非常に重要になってきています。当然、虐待を担当するのは児童相談所であるので、そことの連携は密に行っているところです。そういった連携の中で小さなサインを見逃さないような仕組みを作っていきながら、学校からの発信だけではなく、地域の目であるとか関係機関が把握した情報を逆に学校に伝達して、その子供を丁寧に見ていく、そういった双方向の関係づくりの中に、青少年課が入って具体的な情報提供や関係調整を進めているところです。
市 長	春先、3月、4月頃から3箇月近く子供たちが学校に行けないという状況の中で、学校に行けない、友達に会えないということにストレスが溜まって、爆発寸前だったということとか、先ほどもありましたがずっと家にいて児童虐待の懸念とかいろんなことがあったので、家と学校だけの利用でもあるし、高校生になると通学がバスとか電車にもなりますが、地域の中でも安全防止を徹底し、いろいろ総合的に判断してそういった背景があるので、岩国市はいち早く学校再開をしました。
西村委員	生涯学習課の成人式の件ですが、まず連休に延期になったんですね。1月の時に思ったんですが、2部方式で行うということで、1時間くらい空けてするというのは変わらずですか。
生涯学習課長	そうですね。今、正式にはまだ発表していませんが、そのように調整しています。
西村委員	前にも教育委員会会議で言ったんですが、もう少し1部と2部の間を空けたらいいんじゃないですか。

生涯学習課長 西村委員	2部制の前はもう30分後ろにずらします。
市 長	そうですか。もう少し空けた方が入口で混雑しないと思いましたので。 それと、市や県が今の状況であれば、実行するということですか。 岩国市だけでなく、東京や大阪からも帰ってくるので、全国の状況を見ないといけません。3割くらいは県外から帰省してくるので、やはり帰ってきたときに祖父母など高齢者等身内に何かあってはいけなないので、それで前回は延期になっているんですけど。今はまだ緊急事態宣言が出ているので難しいかなと思うのですが。
西村委員	5月の連休中なので、早く予約しないといけないですね。帰省するのに。全てが予約するものなので、中止にするなら、直前に判断することでは参加される方がかわいそうかなと思います。
市 長	前回もギリギリだったですね。他市よりは早かったですが、3週間前くらいでしたか。
生涯学習課長 市 長	延期は12月18日に決めました。 キャンセルの関係とか着付けとかあるので余裕を持って判断したいですね。ただ、成人式を開催してあげたいという思いもありますので。成人式は同窓会的な要素があるので、式の後に流れで御飯に行こうとかになってしまうので、その懸念があったんですね。
生涯学習課長	成人式前後の飲食の機会を減らしてくださいとか、大人数はお控えくださいというのをこちらから呼びかけるかどうかはまだ決まっていません。
市 長	今から首都圏等の状況も見ながら、緊急事態宣言はいずれ解けるとは思いますが、コロナの状況がどうなるかによって一つ指針になるのではないですかね。
西村委員	全国で開催した市町村はどれくらいあるのですか。1月に行ったところもありますよね。
市 長	県内は長門だけです。
生涯学習課長	都会の方ですね。神奈川や東京で一部開催されていたみたいで。帰省がなく皆そこにいらっしゃるので。
市 長	県内は一市だけ実施して二つが中止。他が延期となっています。
教育次長	開催したところも少人数だったので影響も少なかったと思います。
市 長	コロナの関係で、感染予防対策で今、学校の方で、授業を見に行ったら子供たちは皆マスクをしていて、先ほど表情が分からないということがありましたが、給食の時は外しているので、一つ表情を見るタイミングなのかなと思います。 学校の蛇口はいわゆる接触タイプですか。最近はレバーで回すタイプだったり、センサーだったりあると思いますが。お手洗いとか、特に東小中学校は最近できたばかりですが。
教育次長	東小中学校のお手洗いを出たところはセンサーです。

市 長	トイレをセミリフォームしたところは、コロナ以降はセンサーに切り替えています。 技術的に、今の捻るタイプの蛇口に機械的なものを付ければ、そんな大きな工事をしなくてもセンサーを取り付けるだけですぐできるのですか。
教育次長	電池式の取り換えるものがあるみたいです、蛇口だけ。
市 長	電池がどれくらい持つか分かりませんが、比較的簡単にセンサーを付けることもできますし、もちろんレバーにするなら、上だけ変えればすぐできますし。
教育次長	今、中学校でレバーを買われて換えているところもあります。
学校教育課長	補助金 100 万円から 200 万円が各学校に付きましたので、それでレバーを買って付け替えたところもあります。
市 長	それはどのくらいの数ができるのですか。
教育次長	蛇口 1 つが 5、6 万円かかります。センサー付きは。
廣田委員	回すのはやめてレバーにするのをやっていましたよね。そのレバーの金額はいくらですか。
教育次長	レバーは 1,000 円から 2,000 円くらいです。
市 長	そんなに大きな工事は必要ないから、その方が一度にできますよね。センサーは良し悪しがあるので。水溜めようと思ったらすぐ止まったりしますよね。お手洗いのところはセンサーでいいと思いますが。レバーとセンサーを併用できたらいいですね。
学校教育課長	来年度新しく予算が各学校に付きますので、8 割程度は国が出していますので、それも含めて各学校と話していきたいと思います。今、空気清浄機とか非接触型体温計、サーモグラフィとかそういったものを各学校に買っていますので、それを揃えてはどうですかと提案してみようと思います。
市 長	国から 3 次の補正が挙がって、市の方に予算が入ってきたんですけど、教育委員会から補正が挙がってこなかったのもので、私が逆にそういうのに使ってはどうかということを昨日言ったところなんです。また、今度現場で数がどれだけあって、全部やったら予算が足りないんだろうけど、トイレ周りだけセンサーにするとか、あとは全部レバーにするとかを今、整備されていない学校で必要個数はどれだけあるかがざっくり分かれば、3 月の議会で入れれるかなと。そうしたら新年度入ってすぐに対処できるかなと。それで数が分かりませんかと聞いたところです。
西村委員	トイレ周りが一番危ないんですよ。
市 長	トイレ周りだけでもセンサーにするのかレバーにするのか。センサーにすると高くなりますが、使い勝手がそれぞれあるんでしょうけど、
教育次長	レバーの方が多くてセンサーはまだ数は多くないです。
市 長	レバーの方が数を多く付けられるので。

廣田委員	今回本当に、コロナの影響を最小限にし、岩国市は授業を再開できましたし、途中で家庭内感染したときも、関係するクラスや学年にPCR検査をきちんとして、保護者の方も、安心して学校が再開できたということで、対応は苦労があったと思いますが結果的に良かったと思います。これからの課題として、コロナが終わった後の子供の精神面もありますが、学力的なことをサポートしていくことが必要ですが、国や県から対応の仕方について指針が来て、現場はそれを守っているんですけど、以前ジュニア合唱をやったときも、声は出ているんですが、昔歌ってた声量の半分ほどになって、それが当たり前になって、授業でも歌ってないところもあったので、今は歌っていいんだよと言ってるんですが、その辺の温度差があるので、安全を第一にできることはしっかりしてもらってほしい。数箇月なら元に戻りますが、1年以上歌わないことが当たり前という状況が続いていると現場の対応が、これから大変になるかなと実感してます。
市 長	声を出してはいけないような状況や雰囲気になるんですね。
廣田委員	正しい情報を伝えて恐れない。でも安全は守らないといけない。
市 長	東小中学校の整備は令和3年度で最後ですよ。現状は旧東中学校校舎の解体をしています、ほぼ終わったところかなと思います。そこは人工芝ですよ。
教育次長	人工ではなく天然芝です。
市 長	天然芝は張り芝ですか。要はポット、田植えみたいに広がっていくのか、マット状にするのか。使える期間が変わってくるのですが。
教育次長	マットです。
市 長	マットで張っていくんですね。マットだと施工完了後はきれいにできあがりますが、結構剥がれるんですよ。子供たちは芝生がきれいに敷いてあるから遊ぶと思うんですが、引っかかったりしてマットごと剥がれる。だからサッカーとかすると危ないんです。田みたいに苗を植えて、3箇月くらい経ったら広がるのでそれが一番しっかりしてるんですけど、その分3箇月くらいは自由に遊べないというのがあります。
村尾委員	今市長が言われたように、田植え方式はニール・スミス方式といって宮部さんがそれを推奨するということで、わずか数万円で一面の芝生が植えられると、水代は別ですが。その前にワガシマ校長先生という方がおられましたが、80万円の芝生をマット上でやったんですが、市長がおっしゃったようにすぐ剥がれて周りの方しか残っていない。やっぱり強さはニール・スミス方式の方がかなり強いし安い。管理もしやすいということで。宮部さんと相談して、管理は向こうがやってくれますので。
教育次長	元々小学校に宮部さんが芝を張ってられたので、剥がして持って行く予定だったんですが、工期の関係でできませんでした。そこで新たに張るということで宮部さんとも相談しながらです。

村尾委員 市 長	その方式であればより安く効率的に強い芝ができると思います。 市内の公園の芝生化事業というのがあって、それは田植え方式でやっているの、東小学校の方もそれだったんだと思います。大体、6月の梅雨前に田植え方式で張るのですが、しっかり踏むんですよ。
西村委員 市 長	それは種を撒くんですか。 5センチくらい深さを掘って肥料と苗を入れて土を上から被せて、6月に植えると梅雨が始まるので、雨がしっかり降るので夏になって9月になったら大体繋がっている。
教育次長 市 長	協議はしてマットで張る方法になりました。 いずれ剥がれると思う。子供たちが走ったりするでしょう。 マットは始めはいいけど。しっかり根付いた方がいいと思うけど。
村尾委員 教育次長 村尾委員	10万円かからないですから安いです。 変更がきくかも含めて検討していきたいです。 人の手は地域住人と子供たちでやれば田植え方式はできるわけですから。
市 長 教育次長 市 長 教育次長	もう入札は終わっていますか。 今、外構が出てるところです。 これは新年度だから今からということですか。 そうですね。芝生化事業と外構事業は分けて行うんですけど。芝の方を先にやって外構を行う計画となっています。
市 長 教育次長 市 長	東小学校側のグラウンドに部室棟とかプールとか建てますよね。あちらも芝生にするんですか。 いえ、芝にはしません。普通のグラウンドです。 新校舎の方のグラウンドが天然芝で新年度工事ですか。まだ十分協議できますね。
教育次長 市 長	はい。 玖北の方で、今度、美和西小学校に新しい調理場を作って、北部地域の小中学校に提供するということですが、何食分作ることになりますか。
学校教育課主幹 市 長 学校教育課主幹 市 長 教育次長 市 長 教育次長 市 長 教育次長	現在 80 食程度なんです、それを 500 食程度作れるような施設に改修する計画です。 それを玖北の小中学校に配送するわけですね。 そうです。 配送業者に委託するようになりますよね。今はどうなってますか。 今は自校でそれぞれやっています。 今やっている業者はいますか。 錦方面はあったと思います。 多分今から入札をするんだと思いますが、手を挙げる業者はいるんですよ。 大丈夫だと思います。

学校教育課主幹	一応、令和5年度からこの調理場でやっていきたいと思いますが、それまでにどういうルートで回ったら効率がいいか、そのあたりも含めてやってくれそうな業者はおられると聞いてますので、内容を詰めていきたいと思います。
市 長	だから令和3年度中に整備するんですよ。
学校教育課主幹	3年度に設計しまして、4年度に工事、5年度から本格的に運用していく予定です。
市 長	5年度から運用するのであれば、事前に業者とか全部決めておかないといけませんね。前内の給食センターの時も保冷車等に業者さんが投資するわけです。ある程度やっぱり早く、市の仕様書を見て判断することになります。それと500だからそんなにたくさんの量でないから、採算が合わないから手が挙がらないということもあるかもしれないですよ。
学校教育課主幹	実際、玖北の方で親子方式でやっているところもあるので、そういったところをお願いをすることもできます。
市 長	5年くらいの契約だろうから、これが1年や2年だと手は挙がらないと思うので、5年くらいであれば手は挙がるかもしれませんね。 それと、旭第二屋外シロヘビ放飼場について、この前、シロヘビが逃げるので、逃げないように電気柵を設置して、壁を登って逃げようとしたシロヘビがびっくりして落ちるとというのが、動物愛護の観点から虐待でないのかという指摘があって、そのあと滑る塗装をやるかやらないかの話を聞いたんですが、どうになりましたか。
文化財保護課長	結局、電気柵で整備をさせていただこうと思います。大きな放飼場なので、効果が分からない上、安全性も断言できないのはどうかということで、電気柵を整備することになっています。ただ、屋根部分のネットの目を細かくすることで、脱走が抑止できるのであれば将来的に電気柵を外すことも可能かもしれないので、ネットの性能等もよく研究しようと思っています。
市 長	ネットが粗いんですね。それだと外から入ってくる可能性もありますよね。
文化財保護課長	躯体の強度との関係もあるので、素材がどんどん良いものになって軽量化して質のいいものができれば今の躯体でも、目の細かいものに変えられる可能性もあるのでその辺の素材の研究をしてみたらどうかということで検討しています。
市 長	軽くて目の細かいものがあれば、重量に耐えて外からの混入もないと。
文化財保護課長	そうすれば電気で刺激を与えることもなく、化学薬品を使うこともなくできるのではと考えています。
市 長	旭第二にはシロヘビが何頭いますか。
文化財保護課長	百数十頭おります。二番目に大きいところなので。
市 長	全部で千頭くらいですよ。一番大きいところは藤河ですか。

文化財保護課長	一番大きいところは旭第一で 180 頭くらいいますので、第二は登録上 150 頭前後くらいいると思います。藤河が今 100 ちょっとです。あとは天神と尾津で、それぞれに 100 未満くらいと、天神の屋内放飼場に 300 います。
市 長	数が増えると食費がかかるので大変ですよね。餌はハツカネズミで冷凍ですか。
文化財保護課長	生餌です。
村尾委員	生まれてすぐの蛇もハツカネズミを食べるんですか。
文化財保護課長	そうです。自家繁殖させて、生まれてすぐの小さなマウスを小さい蛇に、そこそこ大きくなった蛇は購入できますし、自家繁殖のものもございます。
村尾委員	ミミズとかではいけないんですか。畑で蛇が食べているのを見たことがありますか。
文化財保護課長	放飼場の中ではあるかもしれませんが。
教育次長	その辺もいろいろ試しているんですが、やっぱりマウスが一番いい。栄養価も高いということです。
市 長	餌代だけで年間どれくらいかかりますか。
文化財保護課長	600 万円くらいです。
村尾委員	今、冬眠時期ですよ。
文化財保護課長	はい。屋内も冬眠の温度に下げています
教育次長	蛙とかミミズとかも過去に試してますが、成長が悪く、病気の発生が多かったりしたので、最終的にマウスに戻ってきたということです。
村尾委員	健康管理に気を付けないといけないですね。
西村委員	博物館の整備事業で、841 万円で基本計画の策定をするとありますが、視察とか行かれると思うんですが、どういった博物館にしたいとかイメージはありますか。
文化財保護課長	担当者レベルではイメージはあるのですが、視察がコロナの関係でなかなか行きづらいところがありますので、ネットで調べたり、業界の中で聞き取りをして情報収集をしているところです。
西村委員	もしよければ、具体的にここが良かったとか言えますか。
文化財保護課長	参考としているのが、近隣の市では萩や下関とか、新しいものでいえば三次とかあるのですが、そういったところと比較検討しながらどのような規模で運営をしていくか、どのような施設が必要かということを協議しています。下関は 3 種類くらいあってそれぞれ特化したものになるのでうちが目指すものとは少し違うんですが、県内にもあっていろんな意見が聞けるということで参考にさせていただいています。
西村委員	下関の博物館はできてどれくらいですか。
文化財保護課長	下関は平成 28 年開館なので 4 年くらいです。萩は平成 16 年です。一番新しいのは、もののけミュージアムで、人口規模は岩国の半分くらいで

西村委員 文化財保護課長 市 長	すし、内容も特化したものなので、どちらかというと萩や下関を参考にしているものが多いと思います。 もののけミュージアムは名前がついてますが、特化したものですか。 はい。 岩国は今、いろんな郷土資料館とか各地に点在していて、平田小学校にも校内に2教室くらいあるので、学校にあるものとかでしっかり保存しないといけないものは取捨選択しながら、集約しないといけないと思います。
西村委員 市 長	岩国は広いですから。その中にいっぱいあるんですよね。 旧町村にあるんですが、だいたい農作器具とかが多くて場所をとります。似たようなものも多いですよ。
文化財保護課長	そうですね。あと縄文時代からの遺跡が玖北にあるので、いろんな幅広いものが各地に散在している状況です。
西村委員	やっぱり、岩国市でも一つ博物館があったら、子供たちが社会見学に来たときに、ここに行ったら岩国の歴史が分かるという場所が欲しいですよ。
市 長	あとは、中央公民館の方が、整備事業がいよいよ基本設計等ができるのかな。この令和3年度は解体設計ですか。
生涯学習課長	解体をするための設計をします。今、基本設計もプロポーザルに向けて準備中です。
市 長 中央図書館長	周東図書館は老朽化した空調整備の更新ということですが。 9系統あるのですが、そのうち7系統が22年の国の補助金等で改修をしています。児童閲覧室と一般閲覧室が老朽化でルーバーが壊れていたり、夏の冷気が効かないというのもありましたので、計画的に直していきたいと考えております。一般の方は老朽化ですが、長年替えておりませんので部品も作られていないので、いざ壊れたときに部品が調達できるか分からないと補修業者から言われているので、利用者の方が困る前に計画的に直していこうということになりました。
廣田委員	図書館は、コロナ対応で本の除菌機器を導入されていますが、利用状況はいかがですか。
中央図書館長	全館に置いているので皆さんに使っていただいていると聞いております。高いものであれば、風が来たりするのもあるそうですが、うちはそこまで大きいのはいなかったもので、電気が点いて紫外線で自動で切れてくれます。特に音が鳴る訳でもないので入れっぱなしでそのまま忘れてしまう利用者もいるようですが。
廣田委員 市 長 中央図書館長	安心材料ですよ。 うちはまだ電子図書は入ってないんですよ。 入っておりません。市長がおっしゃいました国の3次補正で、検討するようにしております。

市 長	今、岩国の駅の再開発ビルが民間の事業ですけども、そのフロアに市の方で図書館機能を核とした賑わい施設を検討しようということで、どんな機能を入れるかということで、今の図書館の本来の図書プラス電子的なものとか、これから数年先含めて市民に喜ばれるものはあるのかというのを情報収集している段階なんですけど、早く決めないといけないんですよ。今年度中に大体の機能を決めて、来年6月の議会までに皆さんに示せるようなものを出さないといけないので。民間の事業で結構スピード感を持ってやらないといけないです。
廣田委員	広さはどれくらいですか。
市 長	フロアは 3,000 m ² です。市役所の 1 フロアくらいですか。全部それが図書館ということではなくて、商業施設が入ってくるので、テナントと図書館が仕切られてるのではなく、導線が一緒になっています。コーヒー飲みながらとか。時代の流れが速いので、一歩も二歩も先を見越すとどんなものがあるのかということも考えないといけないので。
中央図書館長	今、中心市街地整備課が主に一緒になってやっていて昨日協議したんですが、市民からこういうものがあつたらいいんじゃないかという意見も聞くべきじゃないかということで、アンケート調査も今年度中にやって、結果も踏まえたものにしていきます。
市 長	今からアンケートをするのですか。
中央図書館長	今年度中におそらく無作為で発送して、構想に入れられるものは入りたいと思っています。
市 長	年度内にある程度やっておかないとね。 そろそろ時間となりました。本日も有意義な内容になったので、今後も、相互に連携しながら、教育行政のさらなる充実・発展に向け、事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。 それでは、令和2年度第2回岩国市総合教育会議を閉会とさせていただきます。